

農業センターだより

第28号
平成26年5月

公益財団法人 成田市農業センター 成田市宝田 912-1
(JA成田市経済センター 2階)
TEL 22-6581 FAX 22-6580
Eメール nougyoucenter@ar.wakwak.com

農地中間管理機構スタート

平成26年4月1日から県段階での農地中間管理機構が設置され、業務が開始されようとしています。千葉県においては、公益社団法人千葉県園芸協会を改組・改編してその業務を実施することになっております。その中で、市町村・JA・円滑化団体などへ相談業務などの委託を予定しているようです。当センターとしましても、中心事業であります農地利用集積円滑化事業と密接な関係にあることから、今後、その動向を見ながら連携等を進めてまいります。

また、国の農政では、経営所得安定対策や水田フル活用の見直し、日本型直接支払制度の創設など、転換期を迎えております。それらの情報を皆様にお届けできるよう努めてまいります。

農地利用集積円滑化事業

農業センターのメイン事業である農地利用集積円滑化事業について、現在の実績は合計で910件、約503haとなっています。

農業を取り巻く環境の変化等を背景に農地の貸し借りの相談も増加傾向にあります。担い手への集積から面的集積が求められてきております。

今後も、農地に関するご相談は、お気軽に農業センターまでお問い合わせください。
(農業センターの事業の実施区域は、合併前の成田市です。)

(平成26年3月末現在)

地区	平成15年度～平成24年度		平成25年度		計	
	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)
公津	69	431,572	8	37,242	77	468,814
八生	184	1,215,708	13	69,434	197	1,285,142
豊住	159	931,863	35	158,723	194	1,090,586
久住	216	1,066,954	18	85,315	234	1,152,269
遠山	66	274,159	7	22,387	73	296,546
中央(成田・中郷)	128	714,989	8	21,802	136	736,791
計	822	4,635,245	89	394,903	911	5,030,148

※平成25年度分は新規設定のみ。再設定は、既設定年とした。

農業経営体育成事業・先進地視察研修会

平成26年2月28日(金) 農業者、農業関係機関・団体職員21名の参加者により先進地視察研修を行いました。JA市原市姉崎蔬菜組合—農事組合法人姉崎大根組合において、共同洗浄選別施設導入による省力化・生産性向上等だいこん産地の再生、地域農業の活性化について、また、君津市の小糸在来愛好クラブでは、枝豆・大豆在来種「小糸在来」で耕作放棄地の有効活用から6次産業化等地域活性化の取組みについて視察研修を開催しました。

当初、2月14日に実施予定しておりましたが、大雪影響により日程を延期して実施しました。



◇JA市原市姉崎蔬菜組合—農事組合法人姉崎大根組合

共同洗浄選別施設導入により、生産者は栽培に専念できるため規模拡大が進んで畑が不足していることや、高品質で有利販売するための工夫を行っているなどの説明後、施設の見学を行いました。

今後、洗浄機の増台を予定しており、ますます期待される施設となっています。また、障がい者の雇用にも取り組んでいます。

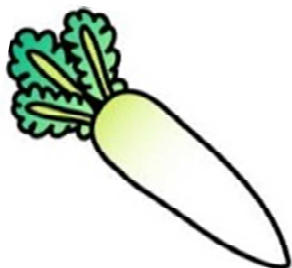


畑作

◇小糸在来愛好クラブ

パワーポイントを利用してご説明いただき、農業者だけでなく行政機関、地元商工業者と連携し、6次産業化やオーナー制による都市住民との交流など様々な取組みを行っているとのことでした。

「小糸在来」を原料として製品を販売している直売所にも伺い、担当者に品揃えや加工工程など質問が飛び交っていました。



平成26年2月24日(月)に、水稻関係の視察として36名の参加を経て、茨城県竜ヶ崎市の有限会社・横田農場に、「生産から加工、販売等多角化、6次産業化への先駆的な取組みについて」また、千葉県柏市の、有限会社・柏みらい農場、柏染谷農場では、「規模拡大における省力化のための育苗(施設)の効率化と水稻直播栽培について」さらに、株式会社アグリプラス(柏市農産物直売所「かしわで」)において、「地産地消、生産者と消費者との交流を進める柏市農産物直売所「かしわで」等の取組みについて」を視察研修してまいりました。

寒い中での研修にもかかわらず、生産者からの質問等に熱心に答えていただき、各々の農業経営に役立てたいとの声も上がりました。



水田



農産物直売所連絡協議会総会・先進地視察研修会

平成26年2月26日に、移動総会並びに視察研修会を行いました。30名の参加があり、あびこ農産物直売所「あびこん」及び「道の駅しょうなん」その他、「農業生産法人・株式会社八街産直会」へ伺い、土づくりにこだわった野菜作りやインショップ活用等の有利販売の取組みについて、さらに、キッコーマンもの知りしょうゆ館を見学、見どころいっぱいの日となりました。



地区協議会開催

平成26年2月27日から3月7日にかけて、成田市農業センター第2回地区協議会が各地区で開催されました。

平成25年度事業等実施状況の報告と平成26年度の事業計画素案の説明及び地区協議会としての要望等を中心に協議を行い意見交換がなされました。「TPP参加の影響」「JA出資型農業生産法人の展望」「耕作放棄地の問題」「農地の集積・連担化」「法人化」「米の食味」など、国政から身近な問題まで、質問や意見、要望が出されました。

また、市から「人・農地プラン」、印旛農業事務所から「水稻播種・育苗の注意点」についてそれぞれ説明をしました。

各協議会でお聴きした皆様の声に応えるべく関係機関・団体と一体となり、実現に向けての具体的な対策を推進していく方針です。



税務・年金等研修会

平成26年2月7日（金）午後1時30分よりJA成田市サンポップにて、平成25年度税務年金等研修会を開催しました。認定農業者・JA職員など68名の参加をいただき、「記帳義務制度と確定申告の留意点等」を税理士の曾根先生より、「国民年金、国民年金基金制度」を社会保険労務士の原田先生から、「農業者年金制度」については、千葉県農業会議の秋葉主幹から説明をいただき、その他として「新たな経営所得安定対策について」市農政課から説明がありました。3時間に及ぶ講義を、熱心に聞き取る参加者の中からは、確定申告直前ということもあり、質問等も飛び交い、これからの農業経営に取り組む、真剣な姿が伺えました。

